

予算決算審査委員会報告書

平成28年6月3日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 橋本逸夫

平成28年6月3日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	結 果	概 要
委員長の互選について	選 挙	指名推選により橋本逸夫委員が委員長に当選
副委員長の互選について	選 挙	指名推選により川崎輝通委員が副委員長に当選

<協議事項>

- 今後の審査方法について

予算決算審査委員会記録

招集日時	平成28年6月3日（金）		本会議散会后	
開議・閉議	午後2時35分	開会	～	午後2時54分 閉会
場所・形態	委員会室A B	会期中（第4回定例会）の開催		
出席委員	委員長	橋本逸夫	副委員長	川崎輝通
	委員	山本恒道		田原隆雄
		尾川直行		田口健作
		津島 誠		掛谷 繁
		守井秀龍		立川 茂
		西上徳一		山本 成
		石原和人		森本洋子
		星野和也		
欠席委員	なし			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	なし			
傍聴者	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

○事務局 本日の委員会について概略を御説明いたします。

ここでは、正副委員長の互選が行われますが、委員会構成後初めての委員会でございますので、委員長の互選は年長委員に臨時委員長をお願いして行います。その後、新委員長により副委員長の互選を行うこととなります。

それでは、御出席の委員のうち、山本恒道委員が年長委員ですので、御紹介いたします。臨時委員長をよろしく願いいたします。

(臨時委員長は委員長席へ移動)

***** 委員長の互選 *****

午後2時35分 開会

○山本臨時委員長 それでは年長ということで、私が臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしく願いします。

ただ今から予算決算審査委員会を開会します。

まず、委員長の互選を行います。互選の方法を協議するため、暫時休憩いたします。

午後2時36分 休憩

休憩中に、委員長の互選は、指名推選により、臨時委員長から橋本逸夫委員を指名することで全員一致した。

午後2時41分 再開

○山本臨時委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

互選の方法は、指名推選で行うこととして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決定いたしました。

お諮りいたします。

指名の方法は、臨時委員長において指名することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、臨時委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、委員長に橋本委員を指名いたします。

ただいま指名いたしました橋本委員を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました橋本委員が委員長に当選されました。

委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

○橋本委員 皆さんからの御指名なのでこの度はお受けいたします。ただ副議長が予算決算審査委員会の委員長を兼任するということでは本来ございませんので、この度はお受けしますが、次の分からはそういったことはフリーにして選んでいただけたらと思います。以上で挨拶を終わります。御協力よろしく願いいたします。(拍手)

○山本臨時委員長 委員長の御挨拶が終わりました。

委員長が決まりましたので、これで私の任務を終わらせていただきます。

皆さんの御協力を感謝いたします。

委員長は、委員長席にお着き願います。

(山本臨時委員長は委員席へ、橋本委員長は委員長席に着く)

***** 副委員長の互選 *****

○橋本委員長 それでは、副委員長の互選を行います。

互選の方法を協議するため、暫時休憩いたします。

午後2時43分 休憩

休憩中に、副委員長の互選は、指名推選により、委員長から川崎輝通委員を指名することで全員一致した。

午後2時44分 再開

○橋本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

互選の方法は、指名推選で行うこととして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、選挙の方法は指名推選によることに決定いたしました。

お諮りいたします。

指名の方法は、委員長において指名することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、副委員長に川崎輝通委員を指名いたします。

ただいま指名いたしました川崎委員を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました川崎委員が副委員長に当選されました。

副委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

○川崎委員 ありがとうございます。定数16人となりまして以前のように一般会計についても予算決算特別委員会ではなく、常任委員会で分科会にしてやったほうが合理的ではないかという意見も出ていましたので、副委員長としてその辺の合理的な審査の仕方というものを中心に委員長を助けていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。以上です。(拍手)

○橋本委員長 副委員長の御挨拶が終わりました。

〔「緊急動議」と田原委員発言する〕

***** 今後の審査方法について *****

○田原委員 今、たまたま副委員長が言っていたように、分科会方式がいいのか、たった16人だからもう一括でやったほうがいいのではないかということ常々思っているが、皆さんいかがでしょうか。一回ほかの……。

〔「議運で」と呼ぶ者あり〕

そうになったらそういつてくれたらいい。私は提案している。

○橋本委員長 ただいま、田原委員から提案がございました、2月定例議会のような盛りたくさんあるいは決算のように盛りたくさんの場合は分科会方式もいいのではないかとと思われるが、6月、9月、12月の予算と言うことになるとわざわざ分科会をふたつ開いてそれから総括というようなことは少し意味がないのではないかと。執行部も説明員が重複して説明をするようなことになるのではないかと。この場合は一本化してもいいのではないかと。この提案が常々、以前からいろいろございました。皆さん方の御意見があれば賜ってそれを議運のほうへお伝えをして、議運のほうで決定していただけたらと思います。ここで議運のメンバーでない方も結構おられますので、御自由に御意見を賜りたいと思います。どなたからでも結構です。

○守井委員 私が予算決算審査委員長を2年ほどやらせていただいたわけだが、もっともっといろんな予算決算審査委員会の内容も含めて、研究調査する必要もあると思うので、議運なら議運にお預けして審査のやり方等についてよく協議していただけたらどうかと思います。

○橋本委員長 議運にお預けするが、ここの中で、皆さん方の御意向をさきに賜っておこうということでございますので、是か非かと言うことで御意見を賜りたいと思います。

○掛谷委員 確か議運の申し送り事項にあったと思うし、それはやって、どういうのがいいのかを議運で、ただ、今回は会派もあるので会派でよく協議をされて、議運の中でやりましょう。

○尾川委員 特別会計が別になっているが、その辺も課題としてあると思う。結構重要な案件なので、一般会計だけで力いっぱい疲れが出るくらいだろうと思うが、今のこともあるが、特別会計もこっちへ持ってきてやるということも必要なのではないかという感じを前々から持っているが、その辺りも問題提起と言うことで、きょうすぐどうこういうことではないですが、はい。

○橋本委員長 今まで大体議運のメンバーばかりが意見を出しているが、その以外の方で言っておきたいという方はおられませんか。分科会方式を廃止して一本化してという提案が今、こうしてもいいのではないかと。この提案が田原委員から出されたわけですが。

○川崎副委員長 田原委員の言うこともわかるが、私は日生町時代であれば二つか三つあった常任委員会で分野別の一般会計についても審査して、そこで可決した後本会議で全体をどうするかというような感じでしたから、今二つの委員会しかないし、会派もちゃんとしているのであればほかの委員会でどのような論議をしたかと言うのはよりスムーズに伝わると思うし、田原委員の意見もあるが、私は常任委員会が特別会計も一般会計も、まあ特別会計はもう所管が決まっているが、一般会計ももうちゃんと大体わけて分科会という形で今までやってきたが、それを分科会ではなくて、常任委員会二つの中に一般会計の中身を全て分けてやればもっとも合理的ではないかと私は思っている。わざわざ予算委員会を作る必要はない。それで決算委員会は絶対必要なので臨時の決算委員会だけはちゃんと決算発表がある時期には決算特別委員会を設けてやればいいのではないかと、昔の方式はそうだったのでそれも参考にして若手の人はそういう体験がないと思うので、ぜひ議運でそういう勉強もしていただき、どちらがいいのか検討をお願いしたい。

○橋本委員長 川崎副委員長そうではなくて、田原委員が言われたのは分科会でそれぞれ執行部

を呼んで審議をして、それを今度総括でもう一度するということが無意味だと、案件が少ない場合はもう一括して、分科会をなくして一括して全員で協議したほうがよりスムーズに行くのではないかというふうな提案だったと思います。あなたが言われているのは、それぞれの常任委員会で決めて、それを本会議で委員長報告をして、それで決定と言うものですよね。

○田口委員 事務局にお尋ねするが、今分割と言うのはだめですよ。

○事務局 ただいまの一般会計の予算案の分割付託は適法ではないと……。

○橋本委員長 ということは、川崎副委員長が言われた案は、採用したくても備前市議会ではできないということですね。それぞれの常任委員会に分割して付託するということではできないということですね。

○事務局 全国各地で分割付託をしている市町村議会がないとは言いませんが、適当ではないということですね。

○川崎副委員長 その論理でいくと、特別会計を常任委員会だけで決定しているのもおかしいと言いたい。中身としては、全ての市民と議員に責任を持つべき中身なのだから特別会計についても予算委員会で全部やるべきではないかと、そういうことになるので、私は常任委員会というところが全てマルチ的にやったほうがいいのか、合理的ではないか、20人、30人いればそういうふうにやらなければならないと思うが、16人ということであればぜひ……。

○橋本委員長 そういう案もあったということで議運のほうで審議してもらいたいと思います。議運のメンバー以外でどんなですか。

○石原委員 田原委員からさきほど提案が出されたが、僕もかねてから通常の6月、9月、12月の補正予算に関してを分科会で分けて議論した後結局予算決算審査委員会の場でそれぞれの主査から報告がなされて、主査に対する質疑もなされ、その後不明な点はまた執行部に確認してくださいというような流れが再三あるので、やはり合理性という面から行くと田原委員の提案というような形で分科会の存在自体をちょっとこう、年度初めの当初予算の兼ね合いもあるが分科会の存在自体を合理的に考えていく一つのきっかけとしていただければと、基本的には田原委員の言われる案に賛成いたします。

○橋本委員長 ほかに議運以外の方で特にこれは言っておきたいことがあれば。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、この件については、議運で申し送り事項にもなっているし、議運で正式に御決定をいただけたらということで、田原委員よろしいですか。

○田原委員 はい、結構です。

○橋本委員長 では、そのようにいたします。

以上を持ちまして予算決算審査委員会を閉会いたします。

皆さんお疲れさまでした。

午後2時54分 閉会